

令和4年度 体力向上における各校の成果(小学校)

勝山市

教育委員会

| No | 学校名 | | 成 果 |
|----|-----|-----|---|
| 1 | 平泉寺 | 小学校 | <p>器械運動やなわとびを1年間通して継続的に行うことで、例年よりも技能の向上が見られた。どのような活動においても、必ず目標を立て、カードで見える化し、意欲的に運動を行うことで、体力テストの様々な種目において県平均を上回る結果となった。</p> <p>今年は連合体育大会が行われたことで、他校と交流ができ、少人数の校内ではなかなか生まれることのない競争心が生まれた。</p> |
| 2 | 成器南 | 小学校 | <p>業間運動のレッツランタイムでは、児童が意欲的に短距離走や鉄棒に取り組む姿が見られた。さらに、縦割り班ごとに活動したことで、高学年の児童が低学年の児童に寄り添いながら運動に取り組む姿も見られた。</p> <p>体力テストにおいては、昨年度の自校の結果と比べて14種目の数値が向上し、連合体育大会においては、6年生女子400mリレーで1位を獲得するなど、多くの児童が入賞を果たした。</p> |
| 3 | 成器西 | 小学校 | <p>体力テストでは多くの項目で、県平均の数値を超えることができた。特に、ボール投げ、立ち幅跳びの数値がよかった。ボール投げは、体育の時間に多様なボールを投げる運動に取り組んだ成果であると考え。立ち幅跳びは、サーキットトレーニングのジャンプカードなどの瞬発的な運動に取り組んだ成果であると考え。</p> |
| 4 | 村岡 | 小学校 | <p>体力テストの立ち幅跳びの結果が県平均より男子は平均で約9ポイント、女子は約4ポイント高かった。体育や業間運動に意欲的に取り組んだ成果が表れてきている。握力やボール投げの結果も良好であった。</p> |
| 5 | 三室 | 小学校 | <p>連合体育大会では、7つの種目で3位以内に入賞することができた。</p> <p>体力テストの立ち幅跳びと50m走で、4～6年生の男女共に県平均を上回ることができた。</p> |
| 6 | 野向 | 小学校 | <p>体力テストにおいて、ほとんどの種目が全国平均と同等か、上回っていた。</p> <p>器械運動では放課後練習を行ったことで、上級生の技を見て刺激を受け、新たな技に挑戦しようとする児童が多くみられた。</p> <p>連合体育大会では、他校と競ったり、自校を応援したりすることで、運動への意欲だけでなく連帯感も育まれた。</p> <p>学校行事は児童の運動への意欲を高めた。行事に向けて、休み時間に自主的に集まって練習する児童の姿もみられた。</p> |
| 7 | 荒土 | 小学校 | <p>児童アンケートの「体を動かしたり、運動したりすることが好きである」の項目では、80%以上の児童が肯定的な回答をした。</p> <p>異学年で大縄とびを実施したことは、運動することの楽しさを体感しながら、目標をもって体力をつける活動の充実につながった。</p> |
| 8 | 鹿谷 | 小学校 | <p>オリジナルの「バンビ体操」を作成し全学年で取り組んだことで、低学年でも多様な動きや柔軟性が身につけているように感じる。様々な動きを身につけるためには、低学年の頃からの積み重ねが重要になってくるため、今後も継続して行いたい。</p> <p>ICTを活用することで自分自身を客観視できるようになり、練習の質が高まった。</p> |
| 9 | 北郷 | 小学校 | <p>マラソンやなわとびで、カードと掲示物を用いて意欲付けを行ったことがよかった。友達との競争意識を高めたり、自分の努力を誰かに見てもらうことで自己肯定感を高めたりすることができた。また、行事後のふり返りや昨年度との比較にも活用できた。</p> |